

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

HPサイト http://www.kenpoukaigi.gr.jp

第301号

2011年7月29日

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

民主党 比例 80 削減など衆院選挙制度改革案を決定 参院

選挙制度改革案も 8・3 議面集会など、撤回求め世論と運動大きく！

民主党は、7月28日の政治改革推進本部総会で、衆議院の選挙制度改革案を決定しました。

比例定数 80 削減、小選挙区は2案 比例定数を現行の180から100に減らしたうえで、定数300の小選挙区を①「5増9減」（平岡秀夫案）と②「6増6減」（石井一案）の2案とすることをまとめ、新執行部のもとで野党と協議する方針を決めました。

執行部が提案した「21増21減」案の激変緩和措置として両論が併記されたもの。①では、東京の小選挙区を3、神奈川、愛知、埼玉で各1増やし、鹿児島、山梨、佐賀、福井、徳島、高知で1選挙区減らすというものです。②では東京、長野、岐阜、静岡、京都で小選挙区を1増やし、北海道、埼玉、福井、山梨、大阪、兵庫、徳島、高知、佐賀で1減らすというもの。

比例 20 削減の参院改革案も この会議では、3年ごとに改選される参院選挙の制度直しについて、比例代表20減と選挙区の「合区」を内容とした改革案が了承されました。民主党議員への働きかけ強め、撤回させる世論と運動を今こそ 8月3日（水）午後1時30分からの衆議院議員面会所での集会と議員要請を成功させるなど、反対する世論を大きくすることが肝心です。【別項に】憲法会議作成のでは民主党議員の連絡先一覧

憲法敵視の「つくる会」系教科書への監視強化を

中学教科書の採択がはじまりました。問題の育鵬社・自由社のものについては、危険といわれた栃木県内の複数地区も含め、大多数の市区町村が採択していませんが、残念ながら栃木県大田原市と東京都の都立中高一貫校・特別支援学校がひきつづき育鵬社の採択を決めました。東京都は特別支援の公民には自由社を割り当てるという「配慮」さえしています。

さらに、東大阪市（公民のみ）・藤沢市という予想外の地区で育鵬社が採択されました。藤沢では各学校からの調査書でも、採択審議委員会の報告でも育鵬社の評価は低かったといえます。けれども5～6人の教育委員に働きかけ多数を獲得すれば、学校や採択委員会の評価がいかにも低くても、藤沢のようなことはどこでもおこりうるのです。日本国憲法敵視、戦争賛美の教科書、他社版の盗用という不道徳教科書を子どもたちに渡さないよう、これから採択が決まるすべての地区で、採択をめぐる動きへの監視と、教育委員への働きかけを一段と強めることが求められています。